



## 11年連続 定点の小学校で演奏活動 ～クラシック鑑賞が学校行事に定着するまでを振り返ります～

一流のクラシック音楽に触れることが当たり前のこととして学校の中で定着してほしい、という願いから定点の小学校で毎年演奏活動をする事を11年前に始めました。

選んだ小学校は徳永理事長の出身地でもある仙台市の七北田小学校。今はフィギュアスケートの羽生結弦の出身校で有名で校内には羽生選手の数多くの写真、新聞の記事等が掲示してあります。

対象は4年生と6年生に設定しました。仙台市立の小学5年生はホールに出かけてオーケストラのコンサートを聴くことになっていたので。

1回目は2008年12月、ヴァイオリン漆原啓子さん、ピアノ林絵里さんでスタートしました。

2011年は東日本大震災発生の為活動は無し。次の年2012年2月にヴァイオリン山口裕之さん、ピアノ広海滋子さんで復活しました。そして11回目の2018年は12月、ヴァイオリン南紫音さん、ピアノマシュー・ローさんと続きました。この間チェロの山崎伸子さん、横坂源さん、ヴァイオリン加藤知子さん、松山冨花さん、川久保賜紀さん等多くの第一線で活躍なさっている著名な演奏家が協力してくださいました。



1回目(2008年)の様子

・・・子どもたちは緊張。

先生方も初めての事で子どもたちをどう並んで座らせるかなど戸惑う様子が見られました。回を重ねるにつれて子どもたちもリラックスして演奏を聴くようになりました。また、子どもたちはお仕着せの感想ではない生の演奏で感じたことをきちんと発言するようになり、担当の先生だけではなく、他の先生方も私たちのクラシック演奏活動に理解と意義を感じているのが肌で感じられる様になりました。



11回目(2018年)の様子

・・・去年12月の活動では、事前に担当の子供たちが来て演奏家に「今日はよろしくお願いたします」と丁寧にあいさつ。教室での座り方など、子どもたちが主導で行い、先生たちは出来るだけ表に出ず指導している様子でした。

4年生になればトップレベルのクラシック演奏を聴くことが出来ると、子どもたちの間でもすっかり演奏活動が定着、修学旅行等と同じように当たり前のこととして学校行事に組み入れられたように思います。まさに、クラシック音楽が子どもたちの

身近な存在となってほしいという私たちの願いが実を結んだとも言える嬉しい結果となりました。

今回のニュースレターは定点の学校で継続して行った活動結果を紹介しましたが、今後もより多くの学校で演奏活動を行って参ります。

\*今年度も残すところ1校となりましたが、気を緩めずに実施して参ります。